カムカムはっぴい

BANCHIMEISEKI KAMUKAMU HAPPY

春号
2018年〔平成30年〕
3月 弥生
March

発行元 株式会社 番地銘石　青森市堤町1−3−16　フリーダイヤル 0120-75-1483

みなさん、こんにちは☆

昨年より、雪が多かったように感じた今冬。お声がけをいただき、バンチ除雪隊も活躍いたしました。天気の週間予報を見ると、最高気温はプラスの日が続きそうです。少しずつ、春が近づいてきているのかな。

さて、霊園内の大きい通路は、彼岸前に除雪が完了しましたが、お墓はまだまだ雪の中。日が当たりやすい場所は雪どけが進んでいますが、濡れた石は非常に滑りやすいです。お墓参りは、雪がとけて暖かくなるGWころをお勧めいたします。

お墓の工事をする前に…

昨年のカムカムはっぴいでお知らせしていましたが、市営霊園にあるお墓の工事をする前に、墓石施工業者が青森市へ工事申請をしております。その際に、霊園使用許可証の提示を求められるので、霊園使用許可証をお貸し願います。

お墓の修理などをお考えでしたら、お手元に霊園使用許可証があるかご確認下さいませ。

もし、お手元に無い場合は、市役所生活安心課で再発行も出来ます。

お手数をお掛けしますが、ご協力をお願い致します。

◆青森市営霊園に関するお問い合わせ先◆

青森市市民生活部生活安心課　霊園管理運営チーム
青森市新町一丁目３－７
ＴＥＬ：017−734−5277　ＦＡＸ：017−734−5256

※本庁舎から駅前庁舎へお引越しをしました。場所は４階エレベーター近くにございます。ご用の際は、お間違いのないよう、お出かけ下さい。

保守点検について

番地銘石では、お墓を建てるまでではなく、建てた後もお客様のお墓を大事にしていきたいという思いから、定期的に当社のお客様を対象にした無料保守点検を実施しておりました。

昨秋に、保守点検を実施し、この冬にお客様のご自宅へ点検報告書をお届けにあがりました。（遠方の方へは、郵送でお送りさせてもらいました）

お客様へお知らせすることなく、点検及び訪問をしたので驚かせてしまったかと思います。今後も、各霊園ごとに点検時期は異なりますが、保守点検を続けていきますので、点検報告書がお手元に届きましたら、ご覧になってみて下さいませ。

※ご住所やお名前に変更はございませんか？ご逝去された方のお名前で届いている場合などはご連絡くださいませ。

月見野花店

みなさん、お久しぶりです！

月見野・お花のバンチは4月20日頃オープン予定です。昨年のスタンプカードも引き続き、お使いいただけます。（有効期限は御座いません）

皆様のご来店、心からお待ち申し上げております♪

お墓の豆知識〈11〉

今回は、お客様からの疑問にお答えしたことを、いくつかご紹介したいと思います。

Q1．いつお墓を建てれば良いですか？

A1．大切なお墓を価格や見かけだけで急いで決めるのではなく、時間をかけて慎重に。本当に大切なのは「仏様を供養する気持ち」です。

Q2．なぜお墓を建てるのですか？

A2．自分を生んでくれた人、育ててくれた人、見守ってくれた人に感謝の思いを伝えたいと祈るためではないでしょうか。先祖を大切にすることは、自分を大切にすることにつながります。なぜならば、やがて自分も先祖の一人になっていくからです。つまり、お墓は自分のためにも建てるものなのです。

Q3．お墓は何日くらいで出来ますか？

A3．ご依頼をいただいてから、およそ1ヶ月半から2ヶ月かかります。既存のお墓がある場合は、閉眼供養をしてから工事に入ります。

Q4．墓石の購入やリフォーム費用の支払いは現金だけですか？

A4．現金だけではなく、カードなど分割払いも可能です。

Q5．魂入れの場合、のし袋には何と書けばいいですか？

A5．仏教では、法施（ほうせ）・財施（ざいせ）・無畏施（むいせ）の三つを三施（さんせ）（三種の布施）といいます。このうちの財施とは、人へ財産を施すこと。すなわち人間の金品への執着を捨てることを、尊い行いとして仏教は勧めるのです。「布」広く（あまねく）「施」施すので布施と書き、僧侶へ包むお金は「御布施」となります。

ここに挙げたのは、ごく一部ですが、もっと深い内容のお困りごとやお悩みがあると思います。お悩み解決のお手伝いをできればと思っておりますので、いつでもお気軽にご相談ください。

スタッフじゅりこの ほのぼの育児日誌

みなさん、こんにちは。娘のビッグイベントが近づいています。何かと言いますと、小学校の入学式です。

幼稚園は無事に卒園し、仲良くしていたお友達や、お世話になった先生達とお別れをしました。

まだ幼いと思っていましたが、時が経つのは早いもので、もうすぐ小学生。

本人は特に気にしていませんが、大丈夫かなぁと余計な不安を抱いてしまう私。息子の時も同じように気を揉み、取り越し苦労に終わったので、今回もそうなるのかな…？

たくさんの体験をしながら、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

さて、四年生へ学年が上がる息子はというと…

学年末に発行された校内文集に、夏休みで頑張った逆上がりのことを作文にしていました。

逆上がりが出来るようになったら、ご褒美をあげる約束をして始めたのですが、息子はご褒美をもらったことよりも、逆上がりが出来るようになったことが何よりも嬉しく、達成感があったと書いてあり、逆上がりを教えた主人は目頭を熱くさせていました。

自信をつけてあげたいと思っていたので、大成功だったようです。

また一年、いろいろなことがあると思いますが、何事も楽しみながら過ごしていきたいと思います。

編集後記

4／3（火）～4／9（月）の期間、協同組合タッケン美術展示館（市民美術展示館）に於いて、彫刻家・鈴木正治さんの生誕百年記念展が開催されます。彫刻や絵画・版画・書などを展示する予定です。ぜひ足を運んでみて下さいませ。